

平成30年

消防概況

土岐市消防本部

火災概況

前年と比較すると、火災件数は大幅に減少しました。

○ **火災件数**

平成30年中における市内での火災件数は15件で、平成29年と比べると7件の減少となりました。

○ **死傷者**

死傷者数は6名で、内訳は、死者2名、負傷者4名でした。

○ **消防団の出動**

15件発生した火災のうち、消防団が出動した件数は5件でした。

○ **原因別**

原因別では、ストーブ3件、たき火2件、火入れ2件、たばこ1件、取灰1件、その他3件、不明・調査中3件でした。

○ **火災種別**

火災種別ごとに見ると、**建物火災が9件**で最も多く発生し、車両火災1件、その他の火災が5件発生しました。

○ **土岐消防の対策**

毎年火災により尊い命や財産が失われ、死傷者の多くは住宅火災で発生し、その多くは高齢者となっています。

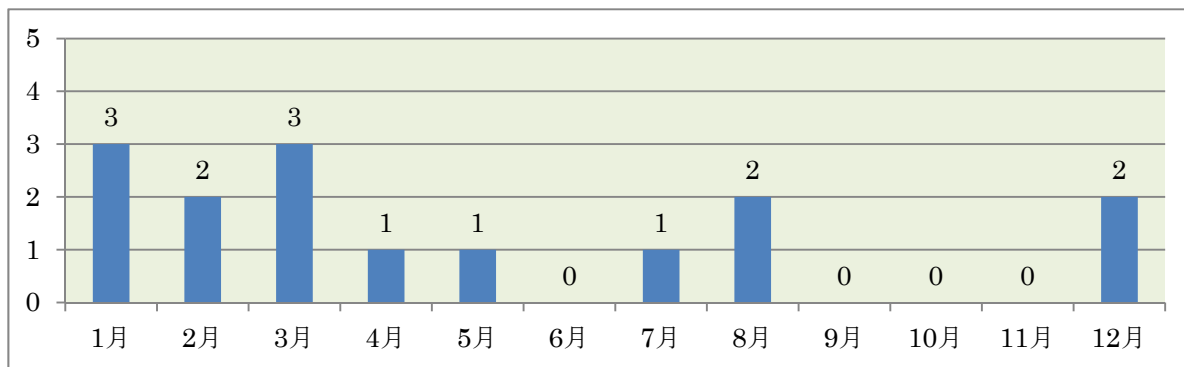
消防本部では、火災による死傷者を低減するため、住宅用火災警報器設置の呼びかけなどの「住宅防火対策」、警戒巡視などによる「放火火災防止対策」、各施設への立入検査および消防訓練の立会いなどによる「不特定多数の方が利用される施設や、福祉施設などの防火安全対策」を重点推進項目として火災のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。

過去の火災状況と昨年との比較

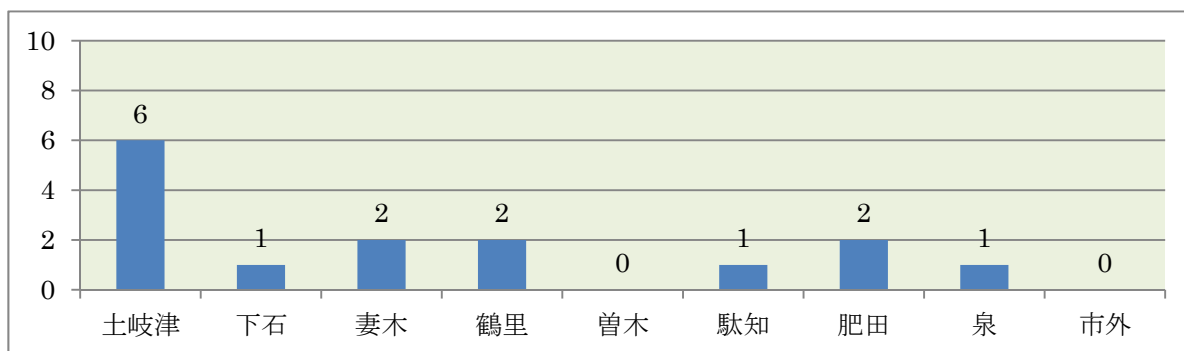
		平成28年	平成29年	平成30年	増減
火災件数	合計	28	22	15	-7
	建物火災	16	14	9	-5
	林野火災	1	1	0	-1
	車両火災	5	3	1	-2
	その他の火災	6	4	5	+1
者数 死傷	死者	1	2	2	±0
	負傷者	5	6	4	-2
損害額（千円）		66,856	55,221	※45,777	※-9,444

※平成30年12月25日、12月29日の火災損害額については調査中のため含まれていません。

月別火災件数



地区別火災件数



平成30年度住宅用火災警報器設置状況調査の結果について

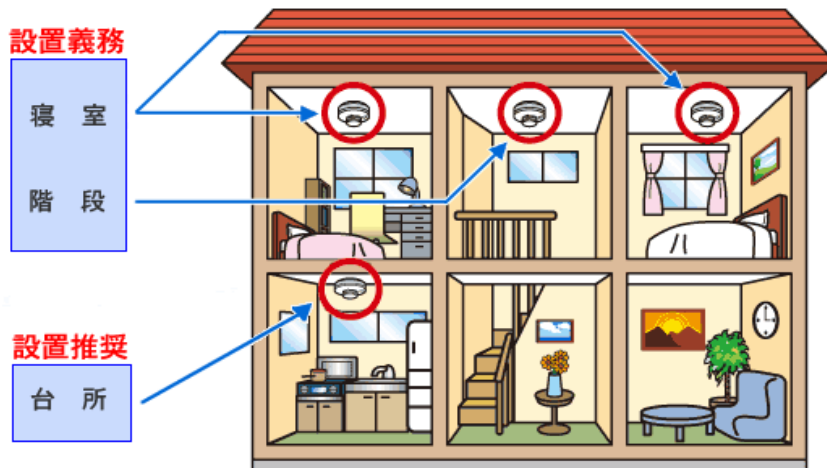
消防本部では住宅用火災警報器の設置状況を把握し、今後の普及活動の資料とするため、全世帯のうち無作為に抽出した世帯を対象に調査を実施しています。今年度は秋季火災予防運動期間中に調査を実施しました。

住宅用火災警報器の設置は平成23年6月から義務化され、火災から生命や財産を守るためとても重要なものです。そのため設置することはもちろんですが、定期的な作動確認を実施し、設置から10年を目安に交換しましょう。

【調査結果】

土岐市	岐阜県	全国
78.6%	79.5%	81.6%

※岐阜県と全国の設置率は平成30年6月1日時点



救 急 概 況

65歳以上の救急事案が全体の約70%を占めています。

○ **救急件数**

平成30年中における救急件数は**2,717件**で、平成29年の2,546件と比較して**171件**の増加となりました。これは、1日平均約7件出動したことになります。

搬送人員は**2,617人**で市民約**22人**に1人の割合で救急搬送されていることになります。

全国的な高齢化の進行により、本市においても全搬送人員の約**70%**を65歳以上の高齢者が占めています。

(平成30年11月末日の人口58,610人より)

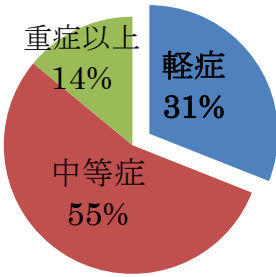
○ **最も多く発生した事故種別は急病**

救急事故種別では、**急病1,658件**で平成29年と比較して**132件**の増加、**一般負傷467件**で8件の増加、**交通事故174件**で4件の減少、その他**418件**で**35件**の増加となりました。

○ **31%は軽症程度**

救急搬送した**2,617人**のうち**31%**にあたる**815人**の方が、医師により入院の必要がないと診断された「**軽症**」の方でした。本当に救急車が必要な人のもとへ1秒でも早く救急車を到着させ、大切な命を救うために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

傷病程度割合

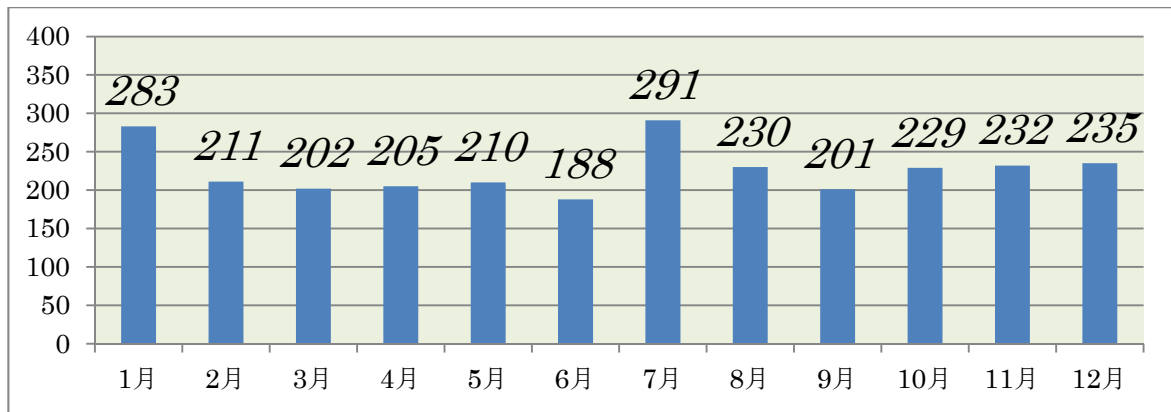


軽 症…入院を必要としないもの
 中等症…傷病の程度が重症または軽症以外のもの
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの

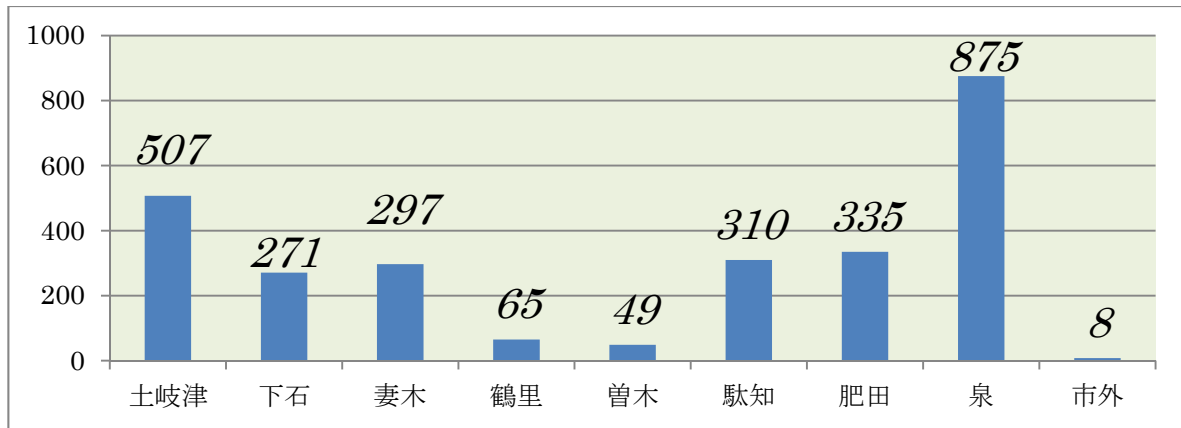
過去の救急状況と昨年との比較

		平成28年	平成29年	平成30年	増減
救急件数	合計	2,570	2,546	2,717	+171
	急病	1,596	1,526	1,658	+132
	一般負傷	407	459	467	+8
	交通事故	163	178	174	-4
	その他	404	383	418	+35
搬送人員		2,446	2,397	2,617	+220
1日平均件数		7.02	6.98	7.44	+0.46

月別救急件数



地区別救急件数



救 助 概 況

交通事故による救助事案が全体の約80%を占めています。

○ **救助件数**

平成30年中における救助件数は19件で、平成29年と比較して7件の減少となりました。

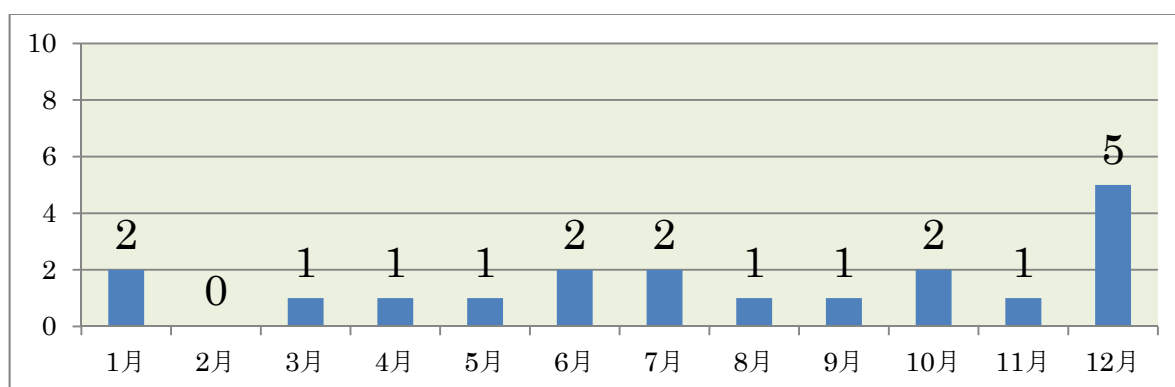
○ **最も発生した事故種別は交通事故**

土岐市では救助件数のうち交通事故は約79%を占めています。土岐市については多数の幹線道路が整備されており、高速道路についてはジャンクションの設置もあり非常に多くの車両が往来することから交通事故が発生しやすい地域と言えます。

過去の救助状況と昨年との比較

		平成28年	平成29年	平成30年	増減
救助件数	合計	31	26	19	-7
	交通事故	17	17	15	-2
	その他	14	9	4	-5
活動件数		19	15	12	-3
救助人員		19	15	14	-1

月別救助件数



地区別救助件数

